

# 親子聖書日課

NO.1635 2020.1/26-2/1 名前

[日]神の祝福を求めるのは、自分の幸せのためではなく、祝福された私達を通して全ての人が主を信じるためです。祝福された人は輝いていますから、魅力的です。「御顔の輝き」こそ、最高の笑顔です。毎週の礼拝は、御顔の輝きを頂く時です。

[月]「日々、私達を担い、救われる神」とは、私達の人生の様々な重荷を負って下さるだけでなく、神の民である私達自身を背負い、天国へと運んで下さるのです。「死から解き放つ神」がおられるのですから、「歌いつつ歩まん、ハレルヤ！」です。

[火]「神殿に対する情熱が私を食い尽くす」とは、主の宮清めの所で語られました。主はご自分の体である教会を贖うために、十字架で全てを捧げ尽くされました。この愛に応えて、私達も情熱をもって、上尾教会の働きのために、身を捧げましょう。

[水]「急いては事を仕損じる」物事はじっくり考えた方がよいですが、主を信じることだけは別です。「速やかに」今すぐに信じることです。「またいつかにしよう」と先送りしては、救いに至りません。「今こそ救いの日」今こそ、主を信じましょう。

[木]「お母さんのお腹にいる時から、教会へ行ってきました」と、子供達は信仰告白します。生まれた前から主に召されていたという自覚は、生涯、主を避けどころとし、年老いても益々希望と平安に満たされるのです。胎教こそ、信仰の第一歩です。

[金]武力や権力によって治められる国は、いつも不満が残り、不安定な状態になります。公正と憐れみをもって民を治める指導者は、神の前にへりくだるところから生まれます。国家の指導者を非難する前に、主に救われるように、祈りましょう。

[土]「なぜ悪人が栄えるのか」いつの時代も疑問です。その答えは、「神の聖所」でしか見つけ出せません。悪人の最後は滅びですから、彼らの繁栄を羨ましがってはいけません。むしろ、義人に永遠の報いが与えられていることを喜びましょう。



	聖書	問題	答え
日	詩編 67:1-8	何をすべての民が知るために、神は私達が祝福して下さいますか。	
月	68:1-36	日々、私達を担い救われる神、主をどうしますか。	
火	69:1-37	あなたの神殿に対する何が、私を食い尽くしていますか。	
水	70:1-6	「神よ、どのように私を救い出して下さい」と祈りましたか。	
木	71:1-24	どこにある時から、あなたに依りすがって来ましたか。	
金	72:1-20	栄光に輝く何をとこしえにたたえますか。	
土	73:1-28	神はとこしえに私の何ですか。	
感想と祈りの課題			